ネパールからの練習生
イッソータパ君!!

夢はネパール初のプロ野球選手

タパさん2度目挑戦

きょう、独立・BCリーグトライアウト

練習試合で力投するイッソー・タパさん（6日、大阪市住之江区で）

13歳の時、それまで見たこともなかった野球にのめり込み、日本のプロ野球選手を目指すネパールの青年がいる。イッソー・タパさん(23)。プール学院大（堺市）の学生やOBが同国で行ってきた野球の普及活動がきっかけだった。13日に読売ジャイアンツ球場（川崎市）で行われる独立リーグ・BCリーグの合同トライアウトに、昨年に続いて挑戦するタパさんは「ネパール初のプロ野球選手になって家族を支えるのが最大の夢。今度こそ、合格したい」と張り切っている。

「家族支える」速球140キロ

ネパールで野球の普及活動をしているのは、同大学OBらが中心となった「ラリグラスの会」。ネパール研修旅行に参加した学生らが野球を通じて友好を深めようと1999年に設立、指導員を派遣し子供達に野球を教えたり、募金を集めて野球道具を送ったりしている。

ネパール第2の都市ポカラに住むタパさんは2001年、初めて野球を教わった。「自分の力で試合をコントロールできるのが面白い」と投手の魅力にとりつかれた。

フェンスもなく、牛が横切るようなでこぼこのグラウンドで練習。十分な数がなく、貴重品のボールがグラウンド外に飛び出すと、練習を中断してみんなで必死に捜し回る……。恵まれない環境だが、野球ができるわずかな仲間と懸命に野球を続け、めきめき力をつけた。同会は「逆境の中で頑張るタパさんに本場の野球を体験させよう」と昨秋、会設立10周年記念として日本に招いた。

約1か月の滞在中、右投げ右打ちの投手として独立リーグ2リーグ、3球団のテストを受けたがすべて不合格。ほかの選手を見て「何であんなに速い球が投げられるんだ」とショックを受けたが、練習を積んで140キロ台の速球も投げられるようになった。再挑戦のため、同会の支援で10月末に来日した。

ネパールは失業率が40%を超え、若者の多くが中東などに出稼ぎに出なければならず、スポーツを楽しむ余裕もない。タパさんは、7月に大学を卒業した後、野球の指導員として同会の経済的支援を受けているが、母親からは家計のため出稼ぎに行くよう求められているという。

「走り込みや筋力トレーニングでレベルアップしたと思う」と話すタパさんは、クラブチーム・大阪ホークスドリームの練習などに参加しながらトライアウトに向けて最終調整を行っている。ラリグラスの会代表の小林洋平さん(29)も「ネパール野球の発展のためにも、良い結果を」と吉報を心待ちにしている。

普及活動きっかけ プール学院大OBら応援

2010.11月13日 讀賣新聞

(平成22年)11月22日(月曜日) 12版● (20)

ネパール人初プロ野球選手誕生

関西独立Lに加入 大阪ホークスドリームで

シャドーピッチングをするイッソー・タパさん

イッソー・タパさん

来年から野球の関西独立リーグに加入する「大阪ホークスドリーム」でネパール人初のプロ野球選手が誕生することが21日、分かった。練習に参加していたイッソー・タパさん(22)で、近日中にプロとして仮契約。

「うれしい。もっとうまくなって将来は上のチーム（NPB）で活躍したい」と意気込んでいる。

母国では超マイナースポーツの野球と出合ったのは10年前。大阪・プール学院大の学生らで結成した「ラリグラスの会」のメンバーが現地で普及に努めていた。

近日中に仮契約

「将来はNPBで活躍したい」

そこでハマり、デコボコの野原で行き交う野性動物を横目にボールを追いかけた。

ポジションは投手。昨秋に初来日し、初めて乗った電車で初めて訪れた野球場で北信越BCリーグなどのトライアウトを受けたがすべて不合格。レベルの高さに驚き、帰国してから標高1000メートルの山を走り込み、筋トレを続けた。昨年は120キロ台だった球速はMAX144キロにアップ。満を持して迎えた2度目の来日で努力が結実した。

森本彰CM(42)も「とてもマジメだし、十分やっていける」と太鼓判を押す。ただ、同リーグは経営難により運営会社が撤退し、プロとはいえ、選手は無給でプレーしている。当面は周囲の支援が頼りのタパさんには、おとしに神戸でプレーした吉田えり投手（現米ハングリー精神旺盛なタパさんの"ジャパニーズドリーム"は始まったばかりだ。

2009年発足

◆大阪ホークスドリーム 2009年に発足し、選手は運営母体の関連会社などで働きながら大阪府高石市などで練習。発足当初は選手育成が目的だったが、今年、練習試合で紀州レンジャーズや神戸9クルーズに快勝し、来年から関西独立リーグへの加入が決定。総監督は南海などで主砲として活躍した門田博光氏(62)。

独立リーグに代わる"広告塔"としての期待がかかるのも現実だ。

来年1月にはパキスタンで開かれる南アジア野球選手権に母国代表として出場、プロとして迎える初のマウンドに立つ。「お金を稼いで家族を助けたい」と

ワード

【ネパール】中国とインドに挟まれたヒマラヤ山脈などの山岳地帯と平原からなる連邦民主共和制国家。以前は王制だったが08年に廃止された。面積14・7万平方キロ（北海道の約1・8倍）、人口2643万人。首都はカトマンズ、公用語はネパール語。ヒンズー教徒が約8割を占め、その他はイスラム教徒、イスラム教徒など。農業、カーペット、観光などが主要産業で一人当たりのGDPは約472ドル（09年）。日本在留は9384人（08年調べ）。

2010.11月22日 スポニチ